

科目ナンバリング		G-LET35 68433 LJ38									
授業科目名 <英訳>		現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 高木 博志			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	水2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		文化財と政治									
【授業の概要・目的】											
<p>2018年度後期に引き続き、「文化財と政治」の問題を考える。現代の文化財は、富岡製糸場などの近代化遺産の評価をめぐる、あるいは「仁徳天皇陵古墳」の呼称で世界遺産登録されようとする陵墓問題などにみられるように、密接に政治と関わっている。</p> <p>明治初期の神仏分離と美術品の海外流出に続き、1880年代には「伝統文化」保存の政策の中で、フェノロサや岡倉天心の文化財保護の活動がはじまる。立憲制の形成とともに帝室博物館、東京美術学校、文化財をめぐるジャンル・等級・時代区分が成立する。この間、国民に開かれた国宝・史跡・名勝・博物館などの文化財と、皇室に秘匿された御物・陵墓・離宮などの私的な財産の二つの文化財の体系が成立する。こうした日本の文化財の有り様を、近現代を通じて考えてゆきたい。後期においては、20世紀を中心に論じたい。</p>											
【到達目標】											
注のある形式の論文が作成できる。「文化財と政治」について、授業とフィールドの両面から、理解を深める。											
【授業計画と内容】											
(授業計画と内容)											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 天皇制と文化財 ・ 史蹟名勝天然記念物と20世紀の文化財行政 ・ 吉野山・奈良公園の近現代 ・ 嵐山・嵯峨の近現代 ・ 神苑の形成（伊勢神宮・明治神宮・橿原神宮） ・ 黒板勝美とハイマートシュツ（郷土色保存） ・ 帝国における文化財 ・ 近現代の陵墓 ・ 国民道徳と南朝史蹟・赤穂浪士の史蹟 ・ 内務省と国立公園 ・ 国宝保存法と文部省の文化財行政 ・ 紀元2600年事業と神武天皇聖蹟調査 ・ 伝説・物語と文化財 ・ 戦後改革と文化財の誕生 ・ 世界遺産と日本の文化財保護法 ・ 近代化遺産と陵墓の世界遺産登録問題 <p>以上のテーマを授業でとりあげる。内容は変更することがある。フィードバックについては授業中に指示する。</p>											
----- 現代史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義)(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

講義にかかわる自由研究のレポートによる。注のある形式。授業で指示。平常点も加味する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書等】

(参考書)

高木博志 『近代天皇制の文化史的研究』(校倉書房)

今尾文昭・高木博志編 『世界遺産と天皇陵古墳を問う』(思文閣出版)

【授業外学習(予習・復習)等】

奈良において、「文化財と政治」に関わる巡見を希望者で行う。

(その他(オフィスアワー等))

レポートの内容について個別相談に応じる。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。